

令和7年度 専修大学大学院 経済学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験（一般・社会人・留学生）

令和7年2月15日（土）実施

科 目 名
マルクス経済学

受験番号	氏 名

以下の2問のうち1問を選択して答えなさい。解答に際しては設問番号を明記すること。

1. 賃金労働者を奴隷と区別する根拠について説明しなさい。
2. マルクスが『資本論』において以下のように述べた理由について説明しなさい。

「資本の基本形態、すなわち資本が近代社会の経済的組織を規定する際にとる形態についての私たちの分析において、卑近な、いわばノアの洪水以前の姿態、商業資本や高利貸資本、これらをなぜさしあたりまったく考慮に入れないのかが、わかってもらえるだろう。」

【解答欄】（ ） ← 解答した問題の番号を必ず記入してください。

裏面を使用する場合には、こちら側を上にして使用すること

採点	
----	--

令和6年9月28日(土)実施

科 目 名
マルクス経済学

受験番号	氏 名

以下の2問のうち1問を選択して解答しなさい。解答に際しては設問番号を明記すること。

- (1) 労働の二重性について説明しなさい。
- (2) 恐慌論における商品過剰説と資本過剰説について説明しなさい。
- 【解答欄】() ← 解答した問題の番号を必ず記入してください。

裏面を使用する場合には、こちら側を上にして使用すること

採点	
----	--

令和 6 年 2 月 17 日 (土) 実施

科 目 名
マルクス経済学

受験番号	氏 名

以下の 2 問のうち 1 問を選択して解答しなさい。解答に際しては設問番号を明記すること。

(1) 商品の流通形態 $W-G-W$ と 資本の一般的定式 $G-W-G'$ について両者を比較し、それをふまえて貨幣の資本への転化について論じなさい。

(2) 相互に自立した私的生産者からなる商品生産社会は、その「無政府性」にもかかわらず、一定の体系だった社会的分業を構成している。その理由について論述しなさい。

【解答欄】 () ← 解答した問題の番号を必ず記入してください。

裏面を使用する場合には、こちら側を上にして使用すること

採 点	
--------	--

科 目 名
英 語

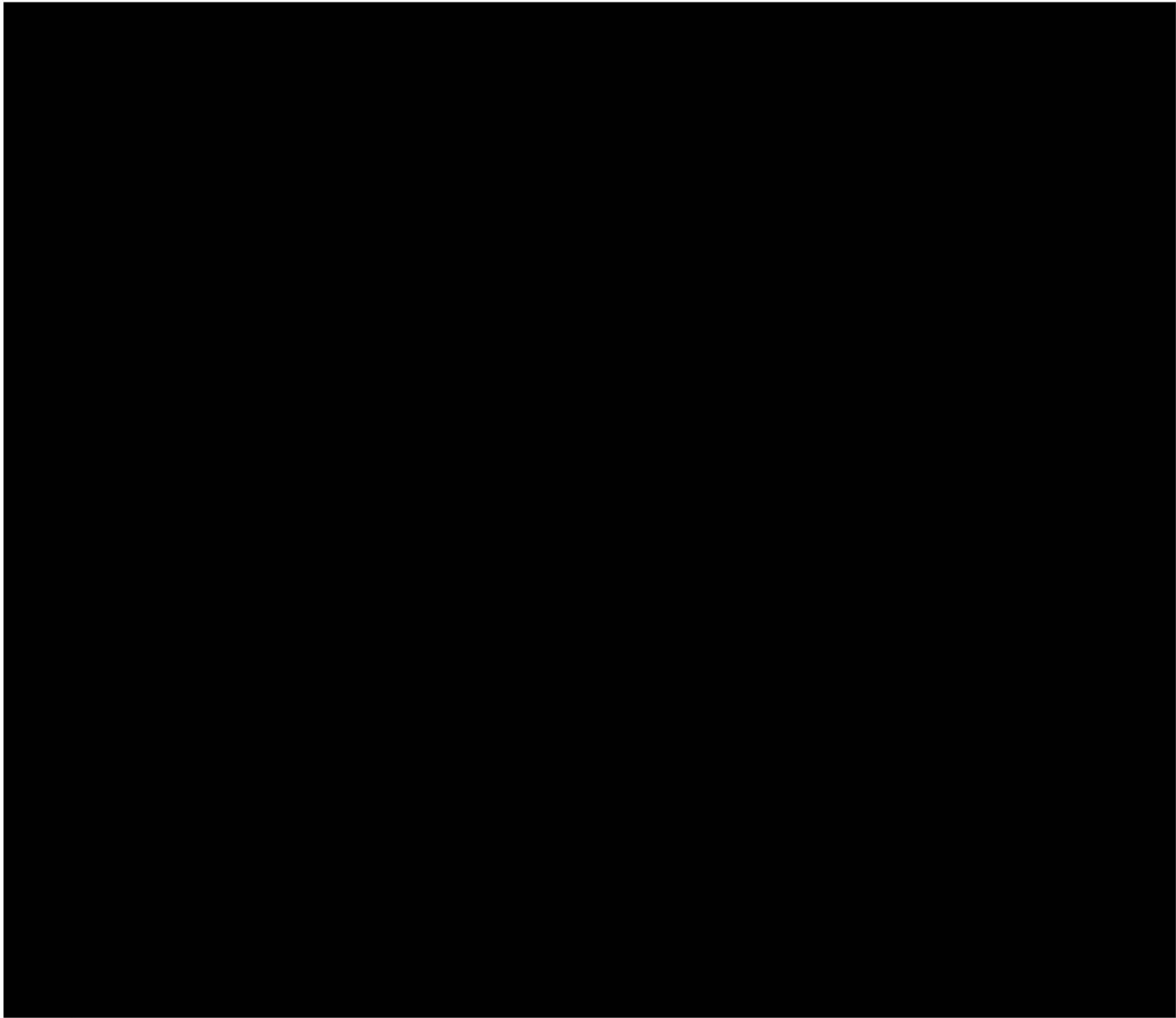
受 験 番 号	氏 名

以下の英文を日本語に訳しなさい。なお、出典を翻訳する必要はない。解答は別紙の解答用紙に記入すること。

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

以下の英文を日本語に訳しなさい。なお、出典を翻訳する必要はない。解答は別紙の解答用紙に記入すること。



parity with... 〓と同等

match...stride for stride 〓に一歩も引けを取らない

“thirty glorious years” 「栄光の 30 年」

revisionist school 再検討学派

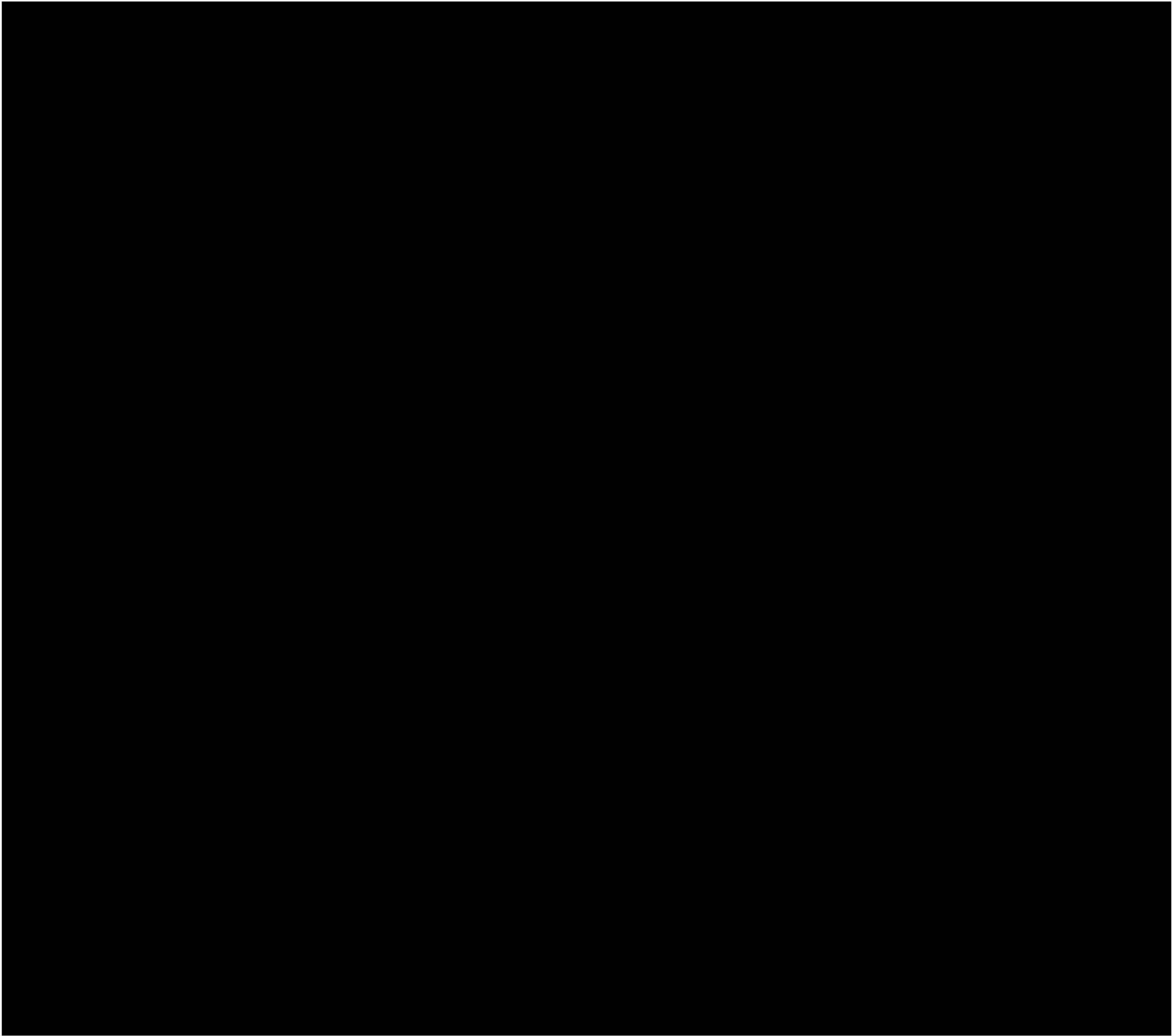
per capita 一人当たりの

“poster child” 「シンボルの存在」、「看板的存在」

(出典 : Michael Stephen Smith, *The Emergence of Modern Business Enterprise in France, 1800-1930*, Harvard University Press, 2006)

科 目 名	受 験 番 号	氏 名
英 語		

以下の文章は、「経済と環境」に関する 4 つのつながりについて説明した文章である。以下の英文をすべて日本語に翻訳しなさい。解答は別紙の
解答用紙に記入すること。



iron ore 鉄鉱石 fibres = fibers
assimilative capacity 同化能力 Millennium Ecosystem Assessment ミレニアム生態系評価
nutrient cycling 栄養塩循環

（出典）Hanley, Nick, Jason F. Shogren and Ben White (2019) *Introduction to Environmental Economics 3rd*, Oxford University Press. （出題の便宜上、一部省略した語句がある）

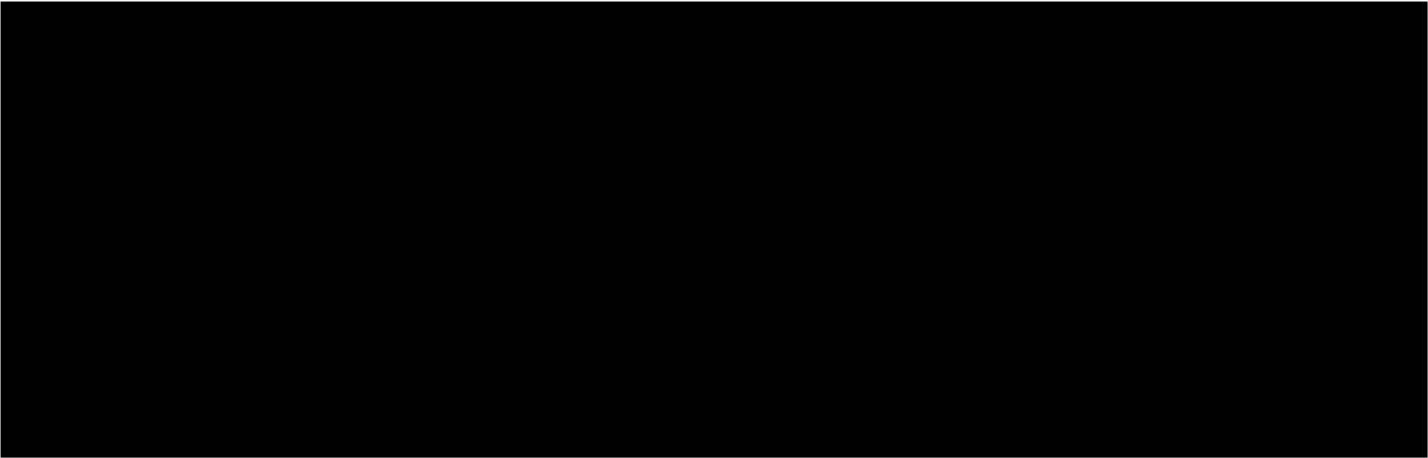
科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

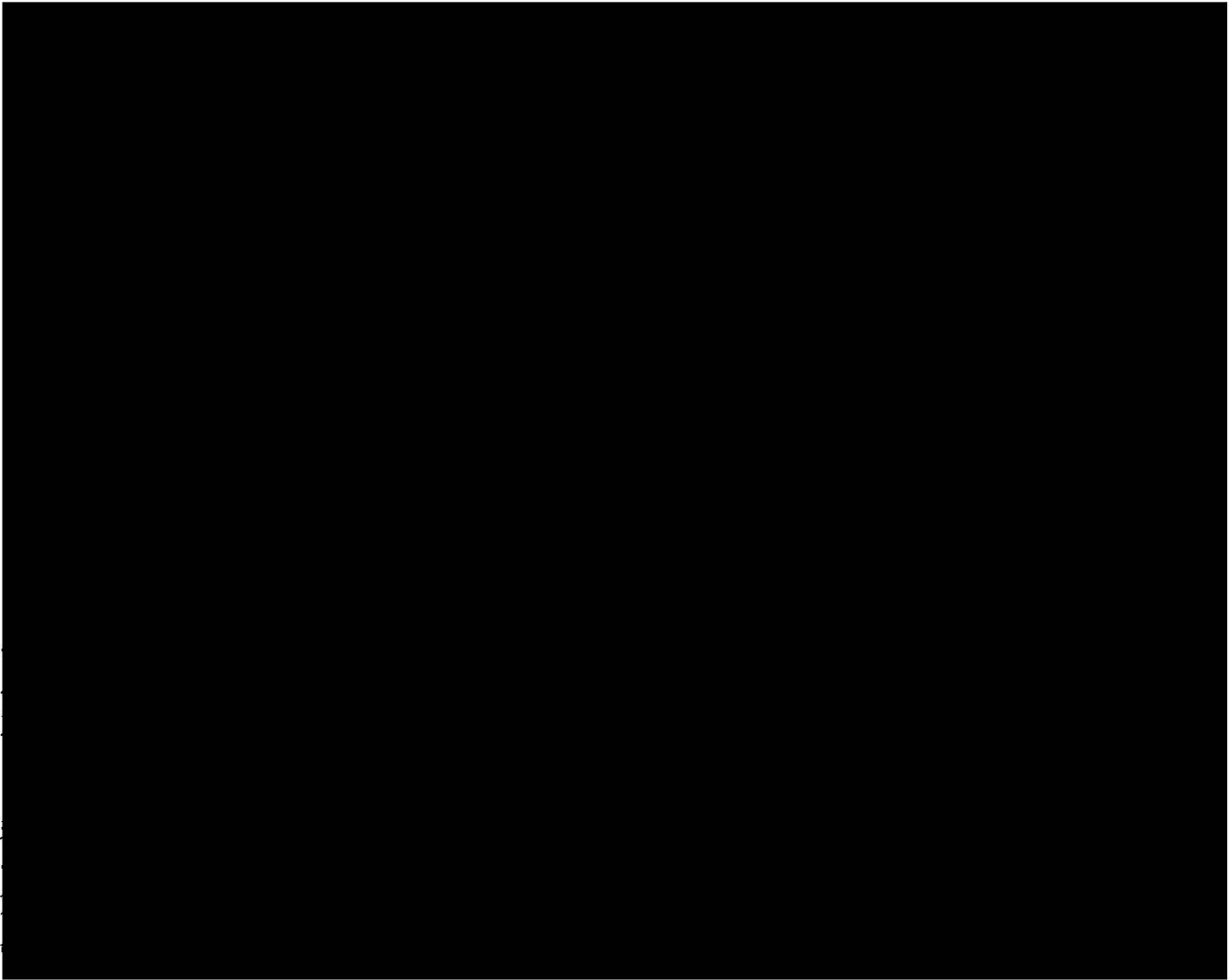
2-1

以下の文章は、ミャンマーのロヒンジャ難民キャンプにおける雇用創出の社会心理的便益をランダム化実験によって実証するために、745 人の難民を「雇用群」(employment arm)、「対照群」(control arm)、「現金供与群」(cash arm)の 3 群 (three arms) に区分して調査した論文の一部である。

まず①の部分に記載されている実験手法を熟読して理解したうえで、下線部(1)から(4)を日本語に翻訳しなさい。解答は別紙解答用紙に(1)から(4)の順に記入すること(なお、(2),(3),(4)は段落をまたがった下線部の全体を解答することとする。)



(中略)

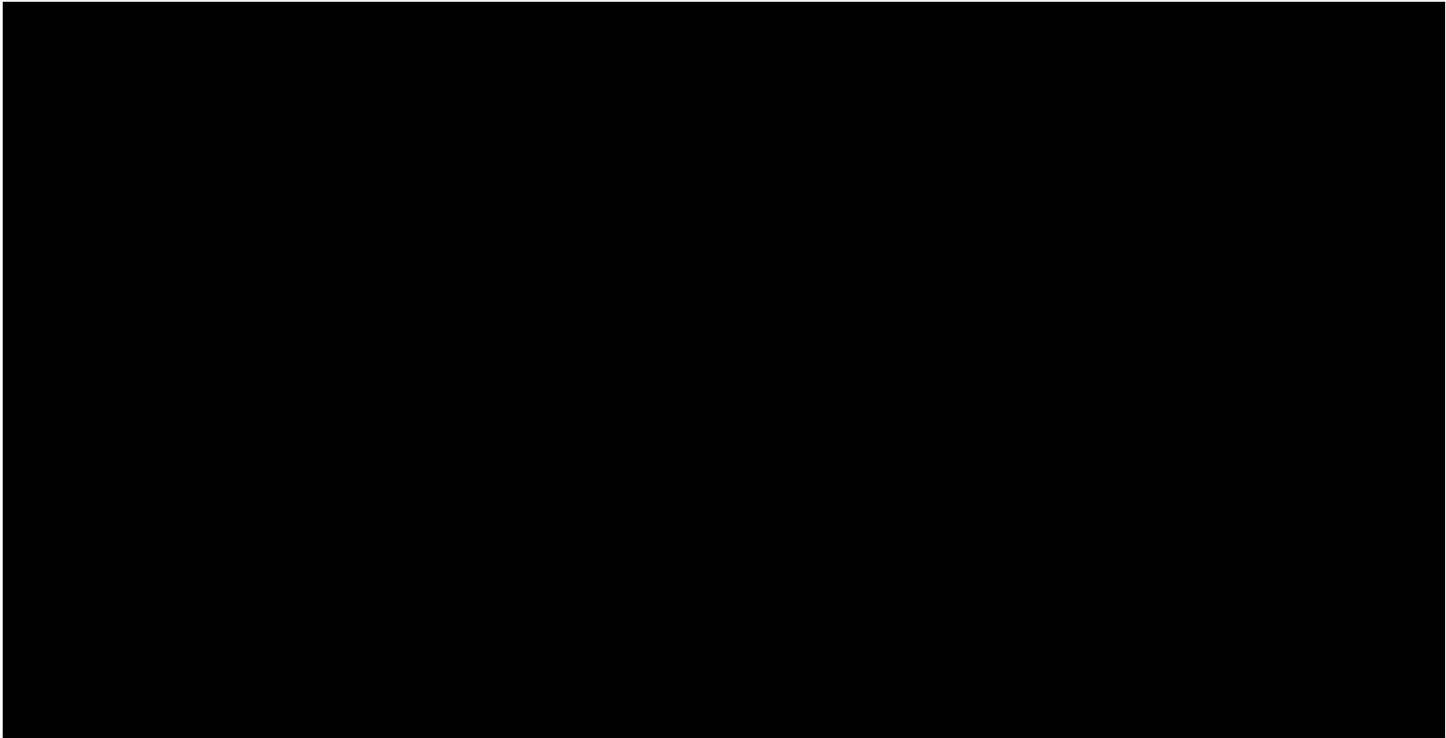


令和 5 年 9 月 23 日 (土) 実施

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

2-2



(出典) Reshmaan N. Hussam, Erin M. Kelley, Gregory V. Lane, and Fatima T. Zahra, “The Psychosocial Value of Employment”, NBER Working Paper No. 28924, June 2021. (出題に際し、文中の引用及び注は省略した)

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

2-1

次のページの文章は「経済学史」を冠した書籍にて再収録された 1955(昭和 30)年の論文の一節で、経済学者における originality に関する記載を入れているものである(注釈は省略した)。この文章の前に、Cournot について高評価を、Mill について低評価を記した記載などが存在する。

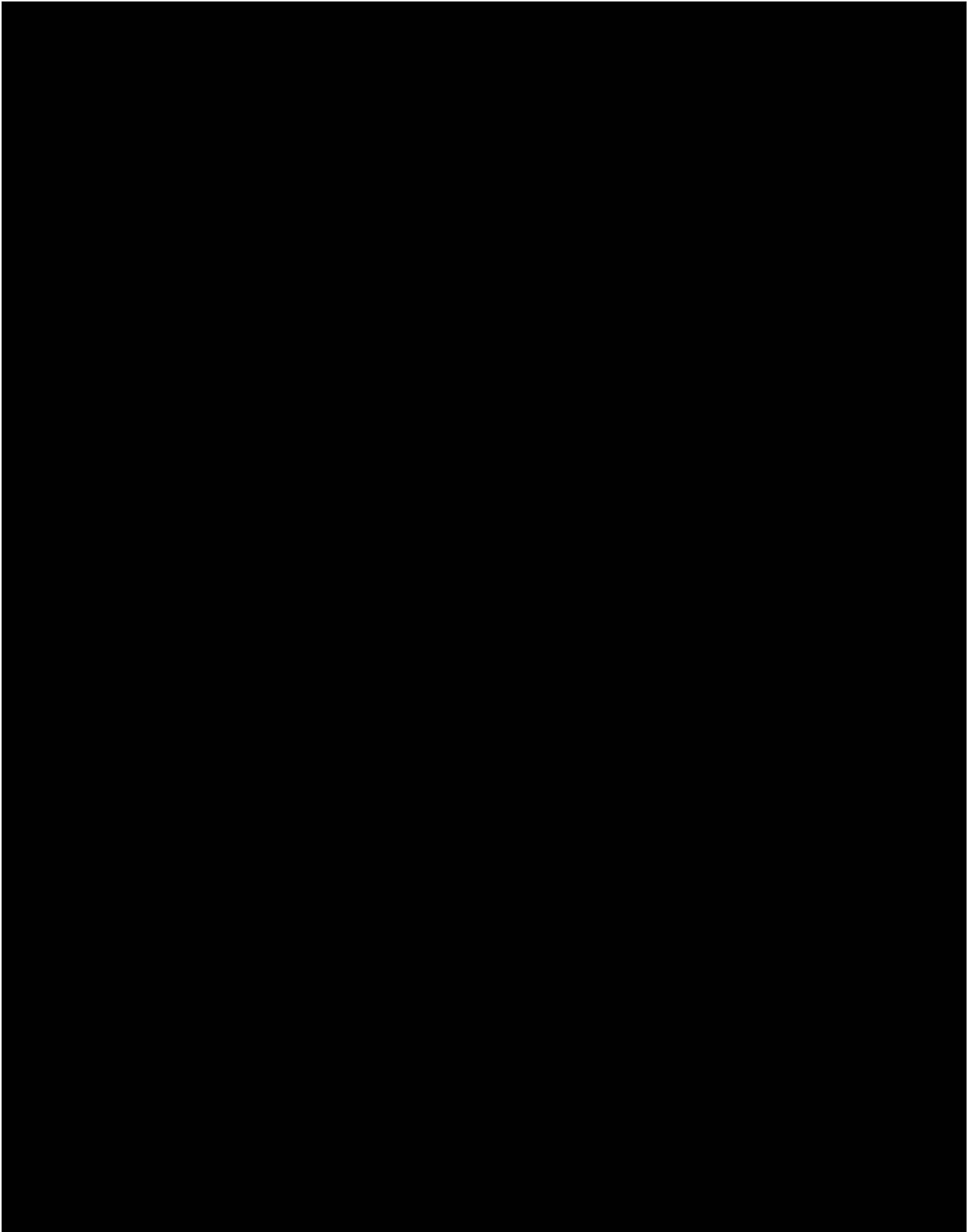
出典: George J. Stigler (1965) "Essays in the History of Economics," The university of Chicago Press, Chicago and London の pp.2-4.

文章の下線部で指示した箇所を(3 行目の数式部はその数式をそのまま付けて)全て和訳して下さい。

【解答は別紙解答用紙に】

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名



科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

以下の英文を、すべて日本語に翻訳しなさい。解答は、①～⑤の段落番号ごとに、解答用紙（別紙）に記入すること。
（※以下は一連の文章であり、①～⑤は便宜的な段落番号である。）

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

出典：Bolt, Jutta and Jan Luiten van Zanden (2021), “The long view on economic growth: New estimates of GDP”, in OECD, *How Was Life? Volume II: New Perspectives on Well-being and Global Inequality since 1820*, OECD Publishing, Paris.（出題の便宜上、引用に際し一部省略した語句がある。）